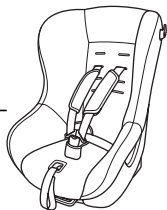
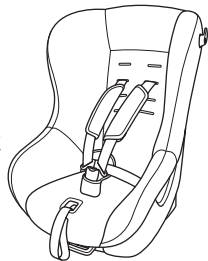


Child Seat

チャイルドシート 取扱説明書



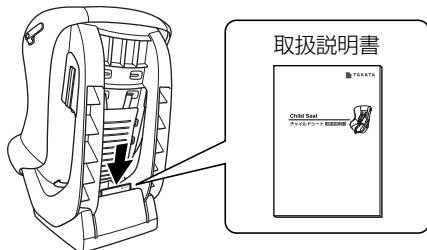
ご使用前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い、正しくご使用ください。また、いつでも読めるように、大切に保管してください。



このチャイルドシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗用装置です。チャイルドシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。

当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万が一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をさせていただきたいと存じます。つきましては、お客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

取扱説明書は、ベース背面に入れて保管してください。



確認しておきましょう	3
次のものがそろっていますか	3
各部のなまえ	3

必ずお読みください	4
マーク表示について	4
緊急時には	4
お子さまの条件	5

ご使用上の注意	6
取り付けできるシート	6
取り付けできないシート	6
取り付けできるシートベルト	7
取り付けできないシートベルト	8
お子さまを乗せるときは	9
取り付けるときは	10
こんなことにも注意して	11

取り付け前の準備	13
肩ハーネス高さの確認	13
肩ハーネス高さ	14
肩ハーネスの高さ調整	15
インナークッションの取り付け	19

シートベルトで取り付ける	21
お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）	21
お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）	27
お子さまの座らせかた	33

収納、お手入れのしかた	35
シートカバーの取り外しかた	35
シートカバーの取り付けかた	36
汚れた場合	36
補修部品について	37

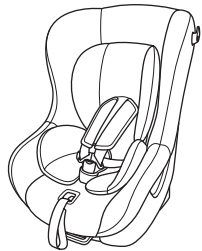
確認しておきましょう

次のものがそろっていますか

ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎0120-70-5441）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品番ラベルに記載されている品番を必ずお伝えください。（37ページ）

■チャイルドシート本体

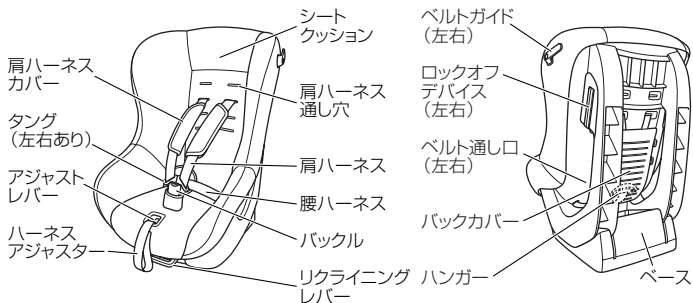


■取扱説明書



各部のなまえ

チャイルドシートと合わせてご確認ください。



必ずお読みください

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。
これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷を負うおそれが想定される内容を示しています。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、傷を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

🔥 アドバイス

チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- ①バックルボタンを押してバックルからタンクを外す。
- ②お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。

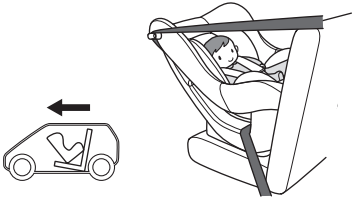
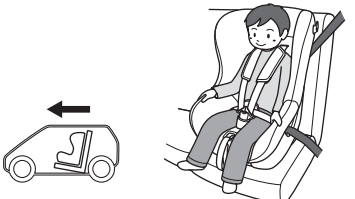


🔥 アドバイス

バックルボタンを押してもタンクが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

お子さまの条件

チャイルドシートはお子さまの条件により、取り付けかたが異なります。ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

体重	参考年齢	取り付けかた
13kg未満	新生児 ～1歳半ごろ	<p>お車の進行方向に対し、後ろ向きで使用します</p> 
9～18kg	9ヶ月 ～4歳ごろ	<p>お車の進行方向に対し、前向きで使用します</p> 

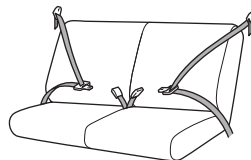
⚠ 警告

体重が9kgを超えるまでは後ろ向きで使用してください。

年齢の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

取り付けできるシート

- 進行方向に対し前向きで、3点式シートベルトが付いているシート

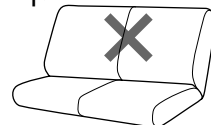


🔥 アドバイス

お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書も合わせてご確認ください。

取り付けできないシート

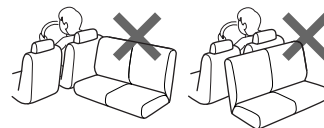
- シートベルトが付いていないシート



- 前方にエアバッグが装備されたシート



- 横向き・後ろ向きになっているシート



- チャイルドシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート

⚠ 警告

お車のシートが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

取り付けできるシートベルト

このチャイルドシートは、協定期則第16号（ECE R16）または同等の基準で許可された3点式巻取り装置付シートベルトを装備したお車にて、ご使用することができます。

■ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出される時）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。



■チャイルドシート固定機構付ELRシートベルト

チャイルドシートを固定するための装置が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときにはELR機能が働く。



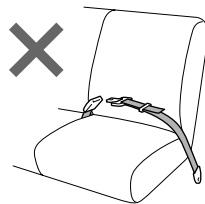
△ アドバイス

お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

■2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



■マニュアル式シートベルト

シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

■パッシブシートベルト

シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトを外すときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

■腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出される時）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。

■ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引く出せない（巻き戻しは可能）タイプ。

■NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ

■その他のシートベルト

「取り付けできるシートベルト」（7ページ）に記載されていないシートベルト。

△ 警告

お車のシートベルトが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

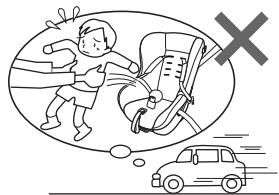
⚠ 警告

お子さまを乗せるときは

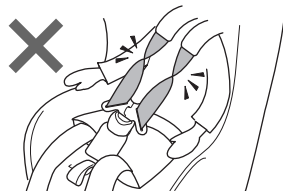
お子さまだけお車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故（熱射病やいたずらによる事故等）につながるおそれがあります。



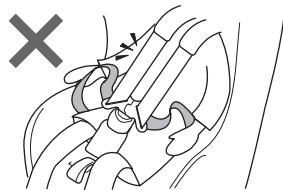
走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗せ降ろしさせないでください。



ハーネスは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。ねじれていると事故のときに重大な傷害を負う可能性があります。



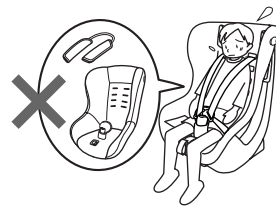
腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負う可能性があります。



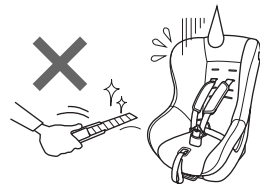
⚠ 警告

取り付けるときは

チャイルドシートを安全に使用していただくため、柔軟材料（専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



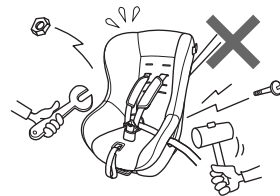
チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。傷ついているとチャイルドシートが正常な動きをしない場合があります。



チャイルドシートを車両に固定するシートベルトに、緩みやねじれのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



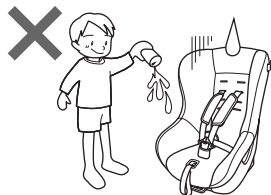
⚠ 警告

こんなことにも注意して

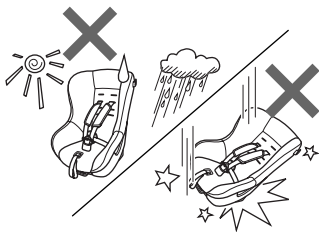
事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。



チャイルドシートのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



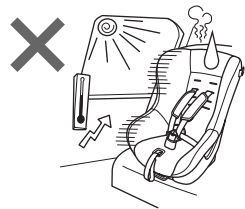
チャイルドシートを保管するときには、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。



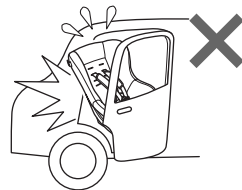
⚠ 注意

こんなことにも注意して

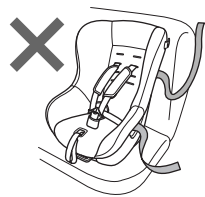
チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、使用してください。



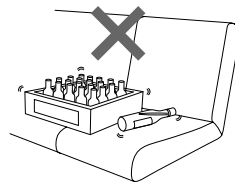
可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（樹脂部分等）が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。



チャイルドシートにお子さまを乗せないときでも、安全のため必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、傷害を負う可能性があります。



事故発生時や乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。

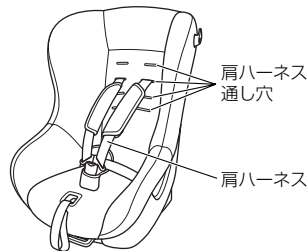


肩ハーネス高さの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置（14ページ）を調整する必要があります。

アドバイス

- 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」（33ページ）をご参照ください。



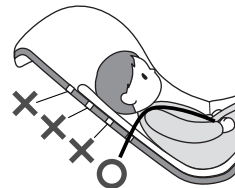
肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（15ページ）を参照し、正しい位置に調整してください。

肩ハーネス高さ

お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（15ページ）を参照し、正しい位置に調整してください。

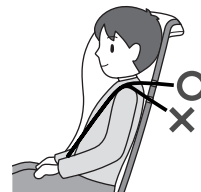
■後ろ向き（体重13kg未満）

一番下の肩ハーネス通し穴を使用してください。（下から1番目のみ）



■前向き（体重9～18kg）

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、より高い位置穴を使用してください。（下から2～4番目）

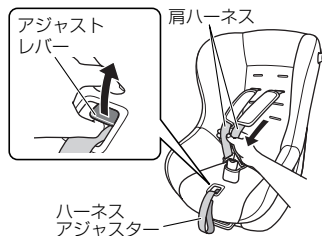


⚠ 警告

肩ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

肩ハーネスの高さ調整

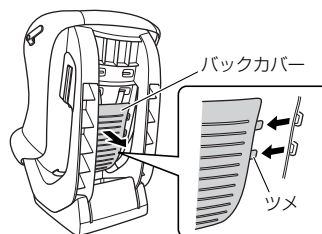
- ①アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。



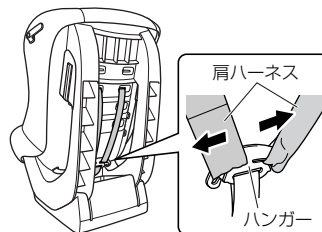
△アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には肩ハーネスカバーではなく、肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せません。

- ②チャイルドシート背面のバックカバーを取り外す。



- ③肩ハーネスをハンガーから外す。



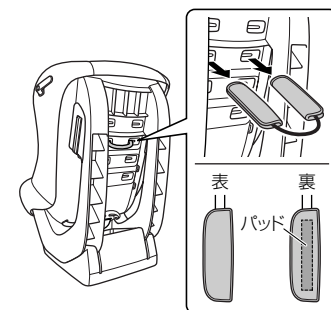
- ④肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き取る。



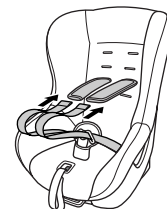
- ⑤肩ハーネスカバーをチャイルドシート背面から引き抜き、適切なハーネス通し穴に差し換える。

△アドバイス

肩ハーネスカバーには表裏があります。パッドがある側を裏（お子さまの肩に当たる）側にしてください。



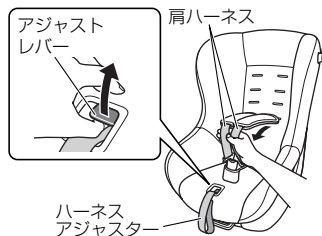
- ⑥肩ハーネスを肩ハーネスカバー、ハーネス通し穴の順に差し込む。



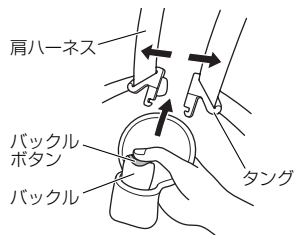
インナークッションの取り付け ※工場出荷時にはすでに取り付いています。

インナークッションは、お子さまの体重が7kg未満（参考年齢6ヶ月未満）の場合にのみご使用になれます。

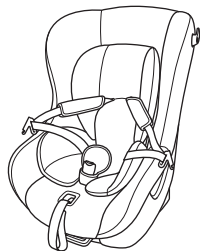
- ①アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。



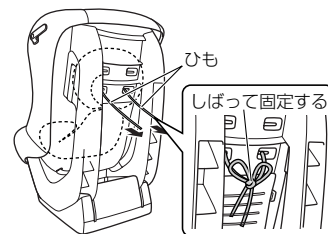
- ②バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③チャイルドシート座面にインナークッションを置く。



- ④インナークッションのひもを上から2番目の肩ハーネス穴に通し、背面でしばる。

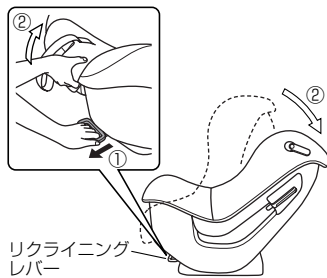


＜インナークッションの取り外し＞
「インナークッションの取り付け」と逆の手順で取り外してください。

シートベルトで取り付ける

お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

- ①チャイルドシートの正面からリクライニングレバーを手前に引く。
- ②レバーを引いたまま、イス部分を倒す。
- ③レバーが戻り、ロックしたことを確認する。



リクライニングレバー

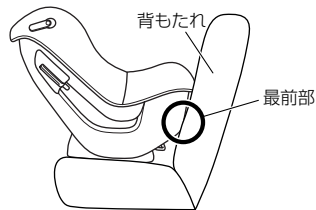
⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ④チャイルドシートの最前部がシートの背もたれに付くように、チャイルドシートを置く。
チャイルドシートと背もたれのすき間が少なくなるよう、お車のシートの背もたれ角度を調整する。



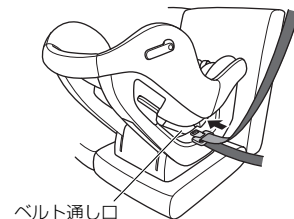
🔥 アドバイス

- 長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、シートベルトやシートに跡がつく場合があります。チャイルドシートとシートが接する面にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

- ⑤シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑥反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タンクをバックルに差し込む。

⚠ 警告

バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



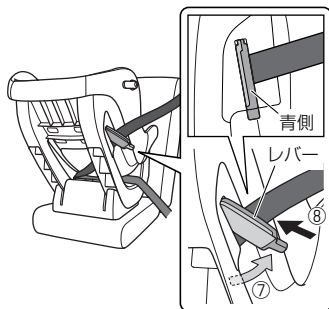
⚠ 注意

シートベルトを通すときは、必ずバックカバーの上を通してください。



お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

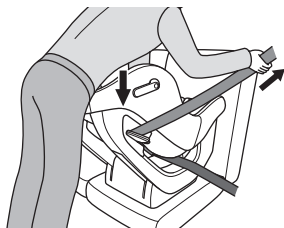
- ⑦ロックオフデバイスのレバーを開く。
- ⑧レバー青側と本体との間にシートベルトを通す。



⚠️ アドバイス

ロックオフデバイスはお車のバックルと反対側のみ使用します。両側を使用する必要はありません。

- ⑨チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



⚠️ アドバイス

腰側（下側）のシートベルトに緩みがある場合はバックル側で肩側（上側）のシートベルトを引っ張ってたるみをなくしてください。



- ⑩シートベルトを引っ張りながら
- ⑪ロックオフデバイスのレバーを閉じる。

⚠️ 警告

ロックオフデバイスのレバーが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

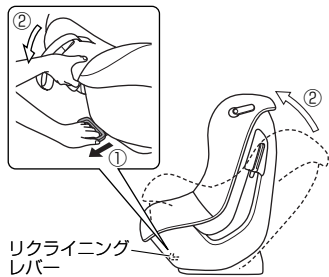


- ⑫ベルトガイドにシートベルトを通す。



お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ①チャイルドシートの正面からリクライニングレバーを手前に引く。
- ②レバーを引いたまま、イス部分をおこす。
- ③レバーが戻り、ロックしたことを確認する。



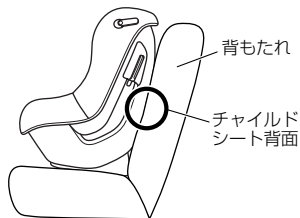
⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ④チャイルドシートの背面がシートの背もたれに付くように、チャイルドシートを置く。
チャイルドシートと背もたれのすき間が少なくなるよう、お車のヘッドレスト高さ、シートの背もたれ角度を調整する。



🔥 アドバイス

- 長期間、お車にチャイルドシートを取り付けることにより、シートベルトやシートに跡がつく場合があります。チャイルドシートとシートが接する面にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

- ⑤シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



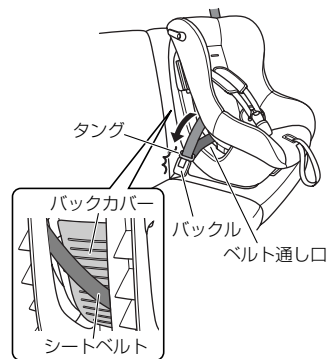
- ⑥反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タンクをバックルに差し込む。

⚠ 警告

バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 注意

シートベルトを通すときは、必ずバックカバーの上を通してください。

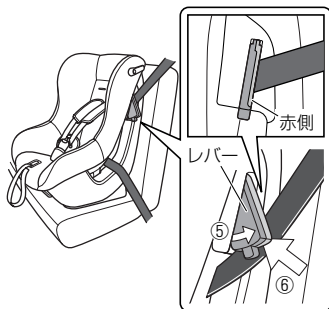


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

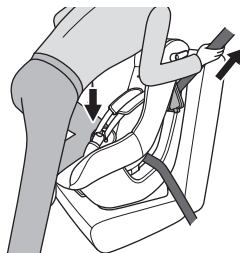
- ⑦ロックオフデバイスのレバーを開く。
- ⑧レバー赤側と本体との間にシートベルトを通す。

⚠️ アドバイス

ロックオフデバイスはお車のバックルと反対側のみ使用します。両側を使用する必要はありません。

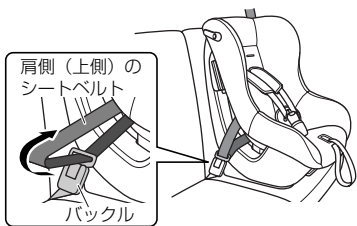


- ⑨チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



⚠️ アドバイス

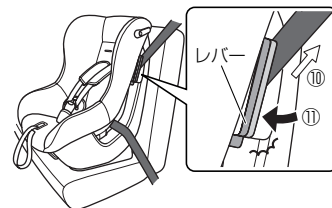
腰側（下側）のシートベルトに緩みがある場合はバックル側で肩側（上側）のシートベルトを引っ張ってたるみをなくしてください。



- ⑩シートベルトを引っ張りながら
- ⑪ロックオフデバイスのレバーを閉じる。

⚠️ 警告

ロックオフデバイスのレバーが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

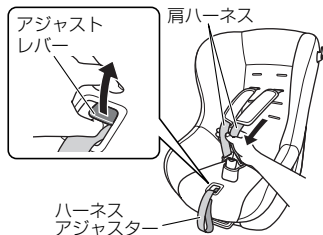


お子さまの座らせかた

- ①アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

⚠️アドバイス

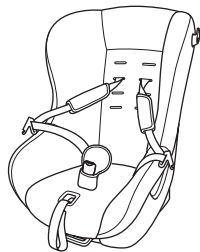
肩ハーネスを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ②バックルボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。



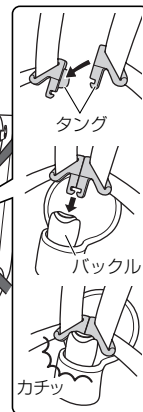
- ④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。

⚠️アドバイス

タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。

⚠️警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤腰ハーネスのたるみを取る。

- ⑥ハーネスアジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

⚠️警告

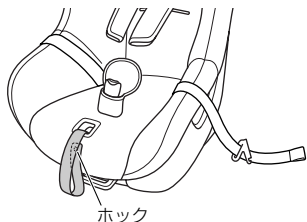
ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。



シートカバーの取り外しかた

①「肩ハーネスの高さ調整」（15ページ）の①～④の手順で肩ハーネスを肩ハーネス通し穴から引き抜く。

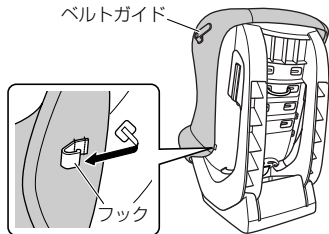
②ハーネスアジャスター端末のフックを外す。



フック

③シートクッション側面のフックを外す。

④ベルトガイドからクッションを外す。

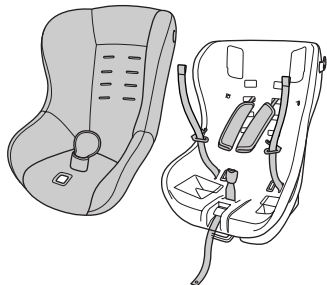


ベルトガイド

フック

⑤タンク、ハーネスをシートクッションから外す。

⑥シートクッションをチャイルドシートから取り外す。



シートカバーの取り付けかた

取り外しと逆の手順でシートクッションを取り付けます。

⚠ 警告

専用クッション以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しない可能性があります。

⚠ 注意

クッションがズレていたり、本体から浮いていないことを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しない可能性があります。

汚れた場合

＜カバー類＞

中性洗剤を使用して、手で押し洗いをしてください。



⚠ 注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

＜本体＞

柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

⚠ 注意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

補修部品について

お買い上げの販売店またはお客様相談室（☎0120-70-5441）までご連絡ください。

お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼ってるラベルの品番を必ずお伝えください。

もし、背面ラベルが無い場合には、側面にあるラベルに記載されている許可ナンバーをお伝えください。

